

大日本史の史眼

—その構成と叙述—

目次

まへがき	1
第一章 『大日本史』本紀の構成	18
はじめに	18
一 本紀の構成	18
二 仁明天皇紀と後巻の構成	21
三 後醍醐天皇紀と後小松天皇紀の場合	27
四 本紀と六国史の関係	29
五 紀末の贊と澹泊論贊との関係(1)	31
六 紀末の贊と澹泊論贊との関係(2)——その意義——	34
第二章 『大日本史』列伝の序	38
はじめに	38
一 列伝の序	38
二 序の検討(1)	40
三 序の検討(2)	44
四 序の検討(3)	47
第三章 『大日本史』列伝の構成(1)	54
はじめに	54
一 列伝各巻の構成と人員数	54
二 列伝構成の特長	59
三 列伝における特長の具体相(1)	61
四 列伝における特長の具体相(2)	64
五 列伝における特長の具体相(3)	66
六 列伝における特長の具体相(4)	68
をはりに	71
第四章 『大日本史』列伝の構成(2)——后妃・皇子・皇女伝——	73
はじめに	73
一 神功皇后伝について	73
二 安積澹泊の「神功皇后論」について	75
三 論贊の神功皇后論	77
五 安積澹泊と序の関係	49
をはりに	52

四 皇子伝と皇女伝について	79
五 后妃伝序にみえる皇后	81

## 第五章

『大日本史』列伝の構成(3)——諸臣伝——	83
-----------------------	----

はじめに	83
------	----

一 列伝第九十九から第百一	84
二 列伝第百二と篠塚某伝	87
三 列伝第百三から第百五と論贊	92
むすび	95

## 第六章

『大日本史』列伝の構成(4)——將軍伝——	97
-----------------------	----

はじめに	97
------	----

一 將軍伝の構成と構想	97
二 將軍伝の叙述(1)	105
三 將軍伝の叙述(2)	108
四 將軍伝の叙述(3)	109
をはりに	112

## 第七章

『大日本史』列伝の構成(5)——孝子伝——	114
-----------------------	-----

はじめに	114
------	-----

一 孝子伝の構成	114
二 孝子伝の叙述(1)	115
三 孝子伝の叙述(2)	118
四 孝子伝の叙述(3)	120
五 藤原邦光について	124
むすび	127

## 第八章

『大日本史』列伝の構成(6)——義烈伝——	128
-----------------------	-----

はじめに	128
------	-----

一 義烈伝の構成	129
二 義烈伝の叙述	132
三 千任丸の取り扱ひ	136
四 義烈伝の意義と問題点	138

## 第九章

『大日本史』列伝の構成(7)——列女伝——	141
はじめに	141
一 列女伝の構成	141
二 列女伝の叙述(1)	143
三 列女伝の叙述(2)	145
四 列女伝序と「貞婦伝序」の関係	148

## 第十章

『大日本史』列伝の構成(8)——隱逸伝——	150
はじめに	150
一 隱逸伝の構成	150
二 鴨長明伝の検討	152
三 「海上隱者」について	156
四 藤原藤房伝について	158
をはりに	160

## 第十一章

『大日本史』列伝の構成(9)——叛臣伝——	161
はじめに	161

一 叛臣伝の構成	161
二 源義朝伝と藤原公宗伝の成立事情	163
三 叛臣伝の叙述(1)	168
四 叛臣伝の叙述(2)	170
五 叛臣伝の叙述(3)	173
六 藤田幽谷の見解	176
をはりに	178

## 第十二章

『大日本史』列伝の構成(10)——諸蕃伝——	180
はじめに	180
一 外国伝と諸蕃伝の構成	180
二 改変の理由と背景	183
三 序の二分について	188
四 諸蕃伝(外国伝)の記述	191
五 むすび——諸蕃伝(外国伝)と国郡志の関係——	195
補論 藤田幽谷の外国伝研究	196

## 第十三章 『大日本史』の出典註記(1)——藤原長方伝——

- はじめに……………201
- 一 藤原長方伝における註記例……………201
- 二 藤原長方伝の参考史料……………212
- 三 藤原長方伝の価値……………213
- をはりに……………216

## 第十四章 『大日本史』の出典註記(2)——名和長年伝——

- はじめに……………218
- 一 名和長年伝における註記例……………219
- 二 「伯耆巻」の水戸伝来について……………225
- 三 「後醍醐帝賜長年宸翰」について……………231
- 四 長年伝本文の検討……………235
- をはりに……………239

## 第十五章 『大日本史』の源義経伝……………241

- はじめに……………241

## 第十六章 『大日本史』の平教経伝……………259

- 一 安積澹泊の義経観……………242
- 二 『大日本史』の義経伝……………245
- 三 義公光圀の義経観……………247
- 四 新井白石との文通にみる澹泊の義経観……………252
- 五 『義経記』不採用の理由……………257
- をはりに……………259

はじめに……………261

- 一 水戸史館の教経論……………262
- 二 江戸史館の教経論(1)……………265
- 三 江戸史館の教経論(2)……………268
- 四 教経伝の引用史料の検討……………271
- 五 教経伝本文の検討……………274
- むすび……………276

## 第十七章 『大日本史』の今川了俊伝……………278

- はじめに……………278

一 『大日本史』の今川了俊伝……………	278
二 今川了俊伝にみえる相続の問題……………	280
三 『難太平記』と『太平記』及び『参考太平記』との関係……………	284
四 『難太平記』と『太平記』及び『参考太平記』との関係(2)……………	288
五 歌人としての了俊の評価……………	291
をはりに……………	293
<b>第十八章 『大日本史』巻二二九における『平治物語』……………</b>	<b>295</b>
はじめに……………	295
一 藤原信頼伝の注記……………	295
二 藤原信頼伝の依拠としての『平治物語』……………	297
三 叛臣入伝の理由……………	301
四 藤原信西伝との対比……………	304
五 源師仲伝について……………	307
をはりに……………	309
<b>第十九章 『大日本史』の年月と改元の記載……………</b>	<b>311</b>
一 『大日本史』の年月記載……………	311
二 記載の根拠……………	313
三 改元の記載……………	315
四 記載の指示……………	316
<b>第二十章 『大日本史』編纂における一字一句の取り扱ひ……………</b>	<b>318</b>
<b>初出一覧……………</b>	<b>324</b>
<b>あとがきにかへて——安積澹泊の思ひ——……………</b>	<b>326</b>